



地域おこし協力隊通信

花下 哲編

第64回

観光担当として、日々アンテナを張り、能代市に埋もれている魅力ある観光コンテンツはないかと目を凝らしています。今回ご紹介するのは「母体里山環境保全プロジェクト」の皆さん。檜山母体地区で昭和30年代まで行われていた伝統的な炭窯を再現して良質な白炭を生産し、炭焼き文化の継承、過疎化・高齢化が進む同地区の活性化と観光体験コンテンツとしての誘客を目的としています。炭を販売して得られる、経済効果への期待もあります。

炭窯があるのは母体の「逆さケヤキ」近くの田園脇。今あるのは改良タイプで、1作目は現場で切り出した石と粘土で作ったものでしたが、改良タイプは、耐火レンガを積んで耐久性を求めたもの。30年代当時の経験をベースに、組合メンバーの知恵とアイデアで作られた窯です。

とはいえ、求める良質な白炭を焼くのは容易ではありません。炭出しは検討を重ねた結果、翌日の深夜に及びました。初めて体験した炭焼きでしたが、さまざまな要素を考えながらトライするのが興味深く、炭出しの時には久しぶりにワクワクする気持ちを感じました。近い将来、炭焼き体験の観光コンテンツ化が実現して、自分が焼いた炭でパーベキューを楽しめることを期待しています。



火入れ



待望の窯出し

協力隊の活動状況はFacebookで公開中!

問合せ 市民活力推進課 ☎89-2212



このコーナーでは、まちの元気さんを紹介します。



No. 98

お仏壇の千栄堂

代表 阿部 誠さん(41歳)

10月に恒例の逸品フェアを行います。ぜひ遊びに来てください!



お仏壇の千栄堂

住所：能代町元町8-1

TEL：74-6512 FAX：74-6513



●気軽に入りやすい店づくり
湯沢市から2003年に移住。人や街を知るにつれて能代が大好きになり「能代のためにもっと頑張りたい」と思って、2017年11月に仏壇・仏具の専門店をオープンしました。仏具屋というと敷居が高いイメージを持たれがち。ガラス張り店内を明るくして、気軽に入れる雰囲気づくりにこだわりました。

●会長として意識改革を図る
今年4月には「能代逸品会」の会長に就任。2013年の発足当時から務めていた前会長の存在が偉大で正直プレッシャーはありました。さらに新型コロナウイルスの影響により、集客イベントが軒並み中止になるなど、頑張りたいけど動けないもどかしさを感じていました。

しかし、自分なりにこの時間を、能代逸品会の原点を見つめ直す機会と捉え、今年度は私を含めた店主たちの意識改革と、加盟する会員店舗のPRに重点的に取り組む年としました。最近では、これからの時代に求められるSNS活用講座を実施。10月にはイオン能代店で恒例の「逸品フェア」を行います。コロナ禍の中でも、集客のためにアクセルも踏まないといけませんからバランスを見極めながら取り組んでいきます。

●店主と話して店を知って
私が強く思うのが「店も商売も面白くしたい」ということ。個人としては、お坊さんを招いて気軽に相談できるイベントを計画中です。何かと忙しい現代社会でこそ、少し立ち止まって仏前で手を合わせる時間は大切。必要な時に頼ってもらえる居場所になれるよう頑張ります。

能代には頑張っている店がたくさんあります。店主と話せば伝わるものが必ずあります。店主の励みにもなりますので、イベントにも各店舗にも気軽にお願いください。

